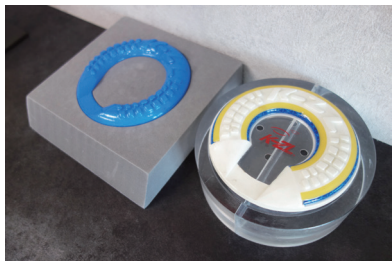


特許権を新設会社に 譲渡して 事業を拡大



利用のきっかけ

★ 建設業界の下請け体質からの脱却を目指し、関連会社がスリップ防止用道路保安用品「ケーズルリング」、スリップ防止溝「ケーズル工法」、掘削工具「ケーズルビット」を開発。特許権の取得を検討しましたが、本業に忙殺され手続きに踏み切ることができず、半ば特許出願を断念。この時、特許流通アドバイザーから紹介された INPIT 知財総合支援窓口の支援担当者からの強い励ましと支援により、特許、意匠、商標の権利を取得しました。

事業上の課題

★ 関連会社は建設業に注力させ、製品の販売・品質管理・正規施工店制度の管理範囲の拡大を目指してロードセーフティー株式会社を新設。ところが、社長が両社を兼務することは利益相反行為となるため特許権譲渡の手続きに迫られていました。

INPIT知財総合支援窓口での支援内容

支援内容

- ① 光触媒に関する技術情報等の提供と発明発掘、公設試の耐候性試験紹介
- ② 特許等先行技術調査の支援
- ③ 特許庁外国出願補助金の活用
- ④ 特許庁の「知的財産デュー・デリジェンス標準手順書」に基づく譲渡金額算定による特許権等譲渡証書、両社株主総会議事録を添付した特許等移転登録支援
- ⑤ 特許権等譲渡契約書、製造委託契約書の作成支援、特許権等移転契約、正規施工店との特許実施許諾契約作成支援

活用した専門家

弁理士 行政書士 INPIT海外知的財産プロデューサー

ロードセーフティー株式会社

所在地	愛知県愛西市
設立年	2013年
業種	製造業
従業員数	1人
資本金	1,000万円
ホームページ URL	https://roadsafety.jp/



知財ポータル
窓口支援事例



製造業

中部

利用後の変化

取得した特許権を活かし、ケーズルビットの製造販売メーカーとライセンス契約を締結。また、全国で「ケーズル工法正規施工店講習会」を展開し、特許工法の許諾契約を締結。新事業形態による品質管理体制を確立しました。2022年7月には愛西市にロードセーフティー新社屋が竣工。業界のリーディングカンパニーとして躍進しつつあります。

今後は、正規施工店との保安用品の全国展開を始め、新工場の建設による地域の雇用創出、INPIT 海外知的財産プロデューサーを活用した代理店の海外展開等、更なる知的財産の活用を図っていく所存です。

ご利用を検討される事業者さまへ



困り事を改善する仕組みを作れば売れるマーケットがある。それを権利化するのが特許です。建設業の場合は、現場の不便を職人たちが独自に改善して使い易くしている。いわば特許の宝庫です。ただ、その工夫を商品化して知財戦略を練ろうとは誰も考えない。考えても、そのやり方が分からない。そこで相談する人の有無が会社の成長に大きく影響すると思います。

当社のような小企業が、知財戦略を取り入れたことで、大手企業との対等な取引や協力企業との円滑な取引ができるようになったのは、すべて INPIT 知財総合支援窓口の支援担当者のおかげです。今後も知財戦略を大きな強みとして、社会貢献できる企業を目指して参ります。

ロードセーフティー株式会社 代表取締役 佐藤隆様